

全国小学校社会科研究協議会
第54回 研究論文の募集について

研究主題

学習指導要領の具現化をめざす社会科指導の工夫

〈主題設定の理由〉

全小社研では、毎年研究主題を設定して研究論文を募集し、集録にまとめて各関係団体と会員各位にお配りすることにより、社会科授業の改善の道を開拓してまいりました。

平成29年3月に告示されました新学習指導要領では、児童の資質・能力の育成を主眼に置き、具体的に知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性について目標及び各学年の目標が示され、内容については知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関わる内容が示される改訂が行われました。

全小社研では、研究主題を「学習指導要領の具現化をめざす社会科学習の工夫」として現行の学習指導要領の具現化に向けた実践について論文を募り、集録として発行してきました。さらに、平成29年度発行の第53集では、新学習指導要領の告示に向けた新しい取り組みについて、各関係団体の先行的な研究をもとに試行された実践が多数応募され、新学習指導要領への関心の高さを示すとともに、平成32年度の完全実施に向けた社会科授業の工夫・改善に向けて、多くの示唆を与える研究論文となっていました。

今年度も、研究のさらなる深化・発展を目指します。私たち全小社研として下記の7点について、さらに実践を深め、新学習指導要領が求める社会科の精神を生かし、児童一人一人に生きる力を確実に身につけさせるための糧としていきたいと思います。

会員の皆様が、よりよい実践を積み重ね、多数応募していただくことを期待しております。

- 1 基礎・基本の確実な習得と応用、発展を図った実践事例
- 2 「思考力」「判断力」「表現力」の育成をめざした実践事例
- 3 児童に身近な教材を取り上げ、主体的・対話的で深い学びをめざした実践事例
- 4 一人一人の児童に生きる力としての問題解決能力の育成をめざした実践事例
- 5 児童が社会的事象の見方・考え方を働かせ、課題を追究していく実践事例
- 6 体験的な活動を適切に組み入れ、考えに広がりや深まりをもたせた実践事例
- 7 学んだことを実社会・実生活に活用し、社会参画を視野に入れた実践事例

〈論文について〉

1. 論文字数 A4縦置き 横書き 6枚(執筆要項は、下記6を参照)
※下記の応募ハガキを事前に事務局に送り、応募登録をしてください
2. 論文締切 平成31年1月25日(金)着 当日消印は有効
※応募は一人一論文といたします。遅れた場合は次年度応募分とします。
3. 応募資格 正会員である団体の長(都道府県小社研会長)が推薦した者
または、準会員(個人会員)
4. 応募方法 ハガキまたはメールにて下記要項を記載の上、平成30年12月14日(金)までに申し込んでください。到着をもって応募登録とします。
 - (1) 副主題 主題の趣旨を生かし研究内容が分かるものとして設定して下さい。
 - (2) 実践学年
 - (3) 実践単元
 - (4) 実践者氏名
 - (5) 勤務校
 - (6) 勤務校所在地・郵便番号・電話番号・ファクシミリ番号
 - (7) 「単位団体の長の推薦」または「個人会員」の資格の明記
5. 発表 2月末に本人宛に連絡し、入選・佳作論文は研究集録に掲載します。
6. 執筆要項
 - (1) A4 縦置き 横書き(読みやすければ、字数・行数制限はありません)
 - (2) 6枚以内厳守 天地左右の余白を必ず20mm以上とって下さい。
 - (3) 写真・図表・作品などは鮮明に印刷できるものにして下さい。
 - (4) そのまま印刷されますので、上質紙にプリントアウトして、2部お送り下さい。
 - (5) メールでのデータ添付はご遠慮願っています。紙ベースでご提出下さい。
 - (6) 未発表の論文に限ります。
 - (7) 企業名・商品名及び個人名等はイニシャルにして下さい。(写真も含む)
7. 論文申し込み・問い合わせ先ならびに送付先

〒142-0061 東京都品川区小山台1-18-24
東京都品川区立小山台小学校 校長 矢部 洋一
TEL 03-3712-7587
FAX 03-3712-7850
Eメール yabe-y@city.shinagawa,

tokyo.jp 修正された。H30.12.03